

令和8年度
高知工業高等専門学校
ソーシャルデザイン工学科
入学案内



独立行政法人国立高等専門学校機構

高知工業高等専門学校

〒783-8508 高知県南国市物部乙200番1

TEL (088) 864-5644・5621

FAX (088) 864-5536

[学生課 総務・入試係]

ホームページアドレス<https://www.kochi-ct.ac.jp>

1. 創 設

深く専門の学芸を教授し、技術者として必要な能力を養うため、昭和 37 年に高等専門学校制度が創設され、本校はこの制度により、昭和 38 年 4 月に設立された国立工業高等専門学校です。

2. 教 育 方 針

学生自らすすんで実践することによって、学問的・技術的力量を身につけ、徳性を養い、将来、創造力のある風格の高い人間・技術者として国際社会を主体的に生きることを目指させます。

3. 入学定員及び修業年限

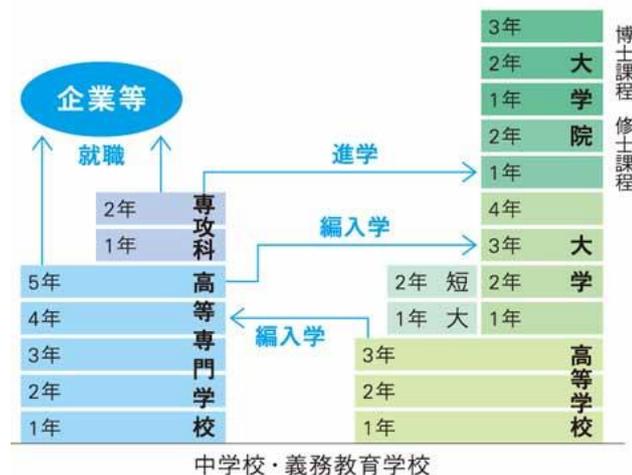
ソーシャルデザイン工学科(1学科5コース制)入学定員 160 名、修業年限は 5 年です。

4. ソーシャルデザイン工学科において養成する人材像

技術や情報が急速に高度化・多様化する現代のダイナミックな変化に即応できるよう、幅広い分野の知識・技術に触れ、自ら選択した特定領域の専門知識と他分野の知識を複合・融合できるハイブリッド型の知識・技術を備えた人材を育成します。また、倫理観と社会的責任感をもって主体的に行動でき、地域や世界が抱える課題を解決するための、判断力、実行力、チーム力などの人間力を備えた人材を育成します。

(学習・教育目標)

- (A) 倫理観と社会的責任感をもって行動できる
- (B) 幅広い知識・技術を融合・協働・相乗できる
- (C) 専門領域の知識・技術を修得し、地域社会に貢献できる
- (D) 国際適応力を備え、グローバルに活躍できる
- (E) 地域や世界が抱える課題解決のための創造力と技術力、チーム力が発揮できる



5. 各コースの概要（3年次からコース制）

【エネルギー・環境コース】

電気・電子システム技術の中心となる、生活を豊かにする情報通信技術とエレクトロニクス、生活を支える環境に優しい電気エネルギー技術やその環境技術を幅広く学び、高度情報化社会を支えるハードウェア、ソフトウェアからシステムまでをデザインできる実践的な技術を修得し、これからの社会をリードする電気・電子・情報通信システム関連産業及びエネルギー関連産業を担う人材を育成します。

【ロボティクスコース】

介護や福祉、災害救助をはじめ、医療・福祉・農業・食品加工分野など社会で実際に活用・実装が期待されているロボットテクノロジーについて幅広い知識を身に付けるとともに、基幹産業として今後の発展が期待されているロボット関連産業を担い、地域社会でこれらの産業を育成できる幅広い知識と技術を持ち、人々の社会生活をデザインできる人材を育成します。

【情報セキュリティコース】

高度情報化社会で重要となる情報関連技術について、基礎から応用まで幅広い知識を身に付けるとともに、情報通信、ネットワーク、ハードウェアを含めたコンピュータシステム、特に情報セキュリティに関する知識と実践的な技術を修得し、人々の健全で、安心・安全な暮らしと豊かな社会をデザインするとともに、その実現に貢献できる専門的・学際的な人材を育成します。

【まちづくり・防災コース】

土木・建築を主とした幅広い専門知識を融合し、社会基盤としての「まちづくり・住まいづくり」ができ、また地震・洪水などの自然災害から人々の暮らしを守る防災技術を持ち、防災関連産業の振興や防災関連技術の発展に寄与でき、地球全体を視野に入れた環境を総合的にデザインできる人材を育成します。

【新素材・生命コース】

化学や生物学の基礎から応用までの幅広い知識をもとに、化学工業・環境・情報通信・精密機器分野などで利用されている高機能材料並びに医薬品製造・食品産業・環境分野などで生物の機能を活かす生命科学に関する知識と実践的な技術を修得し、地域社会からグローバル社会において、これからの未来を支える新素材及び生命科学関連産業の担い手になるべく、人類に有益なモノをデザインできる人材を育成します。



6. 学寮^{せっせいりょう}（切正寮）

本校の学寮(切正寮)は、規律ある共同生活を通じて、深い友情を育み、豊かな人格の形成に励むことを目標としています。

1年生で入寮を希望する者は、選考の上で入寮を許可しています。また、2年生以上の学生は入寮希望者の中から選考により入寮を許可しています。



7. 必要な諸経費

◎入学時の諸経費(令和7年度の実績のため改定する場合があります)

区 分	金 額	備 考
入学料	84,600 円	入学時のみ
授業料	117,300 円	年額 234,600 円の前期分(※1) ※高等学校等就学支援金は含んでいません。
日本スポーツ振興センター費	1,550 円	年 1 回 (災害共済給付制度)
教科書・教材費	約 35,000 円	
制服費	約 50,000 円	平成 28 年度入学生から男女共に制服を一新しています。
服装費	約 55,000 円	運動服・運動靴・実習服等
その他経費	47,000 円	学生会費・後援会費
合 計	約 390,450 円	

(※1)在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

◎学寮の経費(令和7年度の実績のため改定する場合があります)

区 分	金 額	備 考
入寮費	2,600 円	入寮時のみ
寄宿料	年額 8,400 円	月額 700 円 (前期分 4,200 円を 4 月納付、後期分は 10 月納付)
寮 費	年額 72,000 円	月額 6,000 円 (前期分 36,000 円を 4 月納付、後期分は 10 月納付)
食 費	月額約 45,000 円	1,458 円/日 (委託業者に毎月納付)

(注)寮費について、物価高騰の影響を受けており料金改定を検討しています。

8. 奨 学 金

次の「(1)」及び「(2)」の奨学金制度があります。このほか、市町村の奨学金を受けている学生もいます。

(1) 日本学生支援機構奨学金について

学業、人物ともに優れ、かつ健康であって経済的理由により修学が困難と認められる学生については、選考のうえ貸与奨学金(返還義務がある奨学金)を受けることができます。

また、4年生以上を対象とした給付奨学金制度(原則として返還義務のない奨学金)があり、定められた要件と基準を満たす場合に支給を受けることができます。

原則、毎年春及び秋に募集を行います。

貸与奨学金の月額(令和7年度)

種 類	対 象	月 額		備 考
		自宅通学	自宅外通学	
第一種 (無利子)	1～3年生	21,000円 10,000円 のいずれか選択	22,500円 10,000円 のいずれか選択	<ul style="list-style-type: none"> ・1～3年生時に申込をする場合 1～3年生時の月額と4年生に進級後の月額を選択します。 ・自宅外通学生は、自宅通学の月額も選択可能です。 ・最高月額は、奨学金申込時の家計支持者の収入が一定額以上の場合、利用することができません。
	4・5年生 専攻科生	<u>45,000円</u> 30,000円 20,000円 のいずれか選択	<u>51,000円</u> 40,000円 30,000円 20,000円 のいずれか選択	
第二種 (有利子)	4・5年生 専攻科生	20,000円～120,000円 (10,000円単位で選択)		

給付奨学金の月額(令和7年度)

対 象	世帯の所得金額 に基づく区分	月 額		備 考
		自宅通学	自宅外通学	
4・5年生 専攻科生	第Ⅰ区分 (非課税世帯)	17,500円 (25,800円)	34,200円	カッコ内の金額は、生活保護世帯及び児童養護施設等からの通学者が対象となります。
	第Ⅱ区分 (準非課税世帯)	11,700円 (17,200円)	22,800円	
	第Ⅲ区分 (準非課税世帯)	5,900円 (8,600円)	11,400円	
	第Ⅳ区分 (多子世帯)	4,400円 (6,500円)	8,600円	

(注)家計が急変した場合は、緊急採用(貸与)・家計急変採用(給付)制度があります。

(2) 高知県高等学校等奨学金について(保護者が高知県内に居住している方対象)

高知県教育委員会より、高等学校・高等専門学校への進学・修学を希望しながら、経済的な理由で修学が困難な方に対し、選考のうえ奨学金が貸与されます。

原則、毎年春に募集を行います。

【貸与月額(令和8年度)】

区分	金額	備考
国公立	18,000円又は23,000円	中学校在学中に申請して内定者となると、本校入学後採用となります。(無利子)

(注)ただし条例により、日本学生支援機構又は母子及び父子並びに寡婦福祉法による修学資金その他国もしくは県からの奨学金等の貸与を受けている方は、この奨学金は貸与されません。(詳細は県の条例参照)

※詳細につきましては、「高知県教育委員会事務局高等学校課 奨学金担当」までお問い合わせください。

※保護者が高知県外在住の場合は、お住いの都道府県にご確認、ご相談ください。

9. 入学料・寄宿料の免除

(1) 入学前1年以内において、入学する者の学資を主として負担している者(学資負担者)が死亡した場合又は入学者若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けた場合、その他やむを得ない理由により入学料の納付が著しく困難であると認められる場合には、選考のうえ、入学料の全額もしくは半額を免除することがあります。

(2) 学資負担者が死亡した場合又は風水害等による災害を受け、納付困難と認められた場合には寄宿料を免除することがあります。

10. 高等学校等就学支援金制度

国公私を問わず、高等学校等の授業料の支援として一定の収入額(年収910万円程度)未満の世帯の生徒に対し、国の費用により就学支援金が支給される制度です。

本制度により本校の1～3年生(通算36ヶ月)の学生が受ける支給額は、月額9,900円(年額118,800円)です。但し、保護者の所得に応じて、就学支援金の加算または未支給となることがあります。(4月(入学時)に別途案内をします。)

11. 自立応援入学支援金制度

この制度は、ジー・オー・ピー株式会社による寄附金を財源に、地元や親元を遠く離れ、高専生活を通じ、見知らぬ土地で新たな知見を得ようとする志の高い新入生が、経済的理由によりその目標を諦めることのないように入学金相当額を給付し、応援する制度です。

詳細については、10月末頃に本校ホームページへ掲載予定ですので、ご確認ください。

なお、昨年度の申請締切は、下記のとおりです。

【参考】

- ・推薦による選抜：令和6年12月17日(出願書類受付締切日)
- ・学力検査による選抜、帰国生徒特別選抜：令和7年1月28日(出願書類受付締切日)

12. BYOD に関して

本校では本科2年次より、各自でノートパソコン（ノート PC）を準備・持参して頂く BYOD（Bring Your Own Device「自分の端末を持参する」）を導入しております。

ノート PC は、授業資料の配布・確認・記入、レポートや発表資料の作成、e-learning を用いた学習等のほか、学生連絡の確認など、授業から寮の生活まで、日常的な学生生活においても活用します。

ノートパソコンの購入を予定されている方につきましては2年次の開始までに高知高専推奨ノートパソコンの購入をお願いしています。なお、1年次は本校の Chrome Book を貸与することが可能です。

推奨スペックは以下のとおりです。

項目	推奨スペック
形状	ノート型 PC
重量	1.5kg より軽量なもの
無線 LAN	機能を有するもの
キーボード	物理的なキーボードが利用可能なもの
OS	最新版 Windows が利用できるもの
CPU	Core i3 以上・Ryzen3 以上
メモリ	16GB 以上
内蔵記憶	SSD 256GB 以上
外部ポート	USB、HDMI（いずれも変換コネクタ利用でも可）
バッテリー	カタログスペックで8時間以上のもの
カメラ マイク スピーカー	遠隔で他校の授業を受けたり、企業とのオンライン面談などを行う場合は必要です。（USB 外付けでも可）

- * 現在ご家庭で所有しているノートパソコン等を利用する場合で、「推奨される仕様」を満たしていない場合については、改めてこのタイミングで購入し直す必要はありません（状況を見てからでよいです。ただし最新 OS は必須）。
- * 本校では、Microsoft 365 を入学後に無料でインストールすることができます。ただし、この Microsoft 365 は学生本人しか使用できません。家族等での利用が想定される場合は Microsoft 365 が予めインストールされているモデルが適しています。
- * 学内には、充電しながら利用できる場所を順次整備していますが、自宅等で充電して持参するようにしてください。
- * ディスプレイ（PC のサイズ）は 10.9 インチ（iPad ぐらい）、12 インチ（B5）、13.3 インチ（A4）、14 インチ、15 インチなどがありますが、12 インチ以下は人によっては画面が小さく苦勞することもあるかもしれません。15 インチになると非常に使いやすいですが、重いことと机の上で使うときに PC 以外のスペースが限られます。13.3 インチを中心に自分の使いやすい形で選んでください。

- * 光学式ドライブ (CD/DVD/BD) は必ずしも必要ありません。
- * 各教室には個人のロッカーがあります。パソコンは必ず、ロッカーに入れて施錠管理してください。ロッカーの平均的なサイズは、26 (W) × 39 (D) × 38 (H) cm です。
- * パソコンケースも各自入手してください。
- * 本校のネットワークに接続する PC には、ウイルス対策ソフトが必要です。購入 PC にプリインストールされているウイルス対策ソフトをそのまま利用しても構いません。高知高専の学生用マルウェア対策ソフト【ESET】であれば無料でご利用いただけます。
- * 故障時の対応代替ノート PC (クロームブック) も準備しており、普段の学習に支障が出ないようにサポート体制を整えています。

※経済的な理由等によりノート PC を用意することが困難な方を対象に、本校からノート PC を期間の定めを設けた上で無償貸与いたします。

13. アクセス



本校までのアクセス

● 高知龍馬空港連絡バス

JR高知駅前 ≫ 高知龍馬空港 所要時間 約25分

JR高知駅前-高知龍馬空港(約25分) 空港から高知高専まで徒歩約10分

※「高専前」に停車する場合がありますので、乗車時に御確認下さい。

● タクシー

J R 後 免 駅 ≫ 高 知 高 専 所要時間 約15分

とさでん交通後免町駅 ≫ 高 知 高 専 所要時間 約15分

ごめん・なはり線のいち駅 ≫ 高 知 高 専 所要時間 約10分

14. 教育課程

授業科目は、一般科目と専門科目に分かれており、以下のとおりの予定です。

	一般科目	専門科目				
		コース専門科目				
		エネルギー・環境コース	ロボティクスコース	情報セキュリティコース	まちづくり・防災コース	新素材・生命コース
授 業 科 目	日本語表現基礎Ⅰ					
	日本語表現基礎Ⅱ					
	日本語表現Ⅰ	電気回路Ⅰ	電気回路Ⅰ	確率・統計解析	建設材料学	基礎化学
	日本語表現Ⅱ	電磁気学Ⅰ	電子回路Ⅰ	コンピュータネットワークⅠ	構造力学Ⅰ	物理化学Ⅰ
	文章表現Ⅰ	プログラミング	プログラミング	プログラミング	測量学	無機化学Ⅰ
	文章表現Ⅱ	環境リテラシー	機械材料	情報代数学	地盤工学Ⅰ	有機化学Ⅰ
	ソーシャルデザイン入門	工学実験Ⅰ	ロボット工学概論	離散数学	設計製図Ⅰ	分析化学Ⅰ
	総合社会Ⅰ	電気製図	材料力学Ⅰ	アルゴリズムとデータ構造	土木・建築実験及び測量実習	生化学Ⅰ
	ソーシャルデザイン基礎	デジタル回路	工作実習	情報セキュリティと法制度	建築計画Ⅰ	微生物学
	総合社会Ⅱ	電子回路Ⅰ	機械デザインⅠ	情報回路	水理学Ⅰ	基礎化学実験
	ソーシャルデザイン実践	計測工学	製図・CAD	情報工学実験Ⅰ	建築史	分析化学実験
	総合社会Ⅲ	工業数学	計測工学	暗号理論	建築環境工学	情報化学基礎Ⅰ
	基礎数学Ⅰ	数学演習	工作法	コンピュータネットワークⅡ	防災工学Ⅰ	材料学概論
	基礎数学Ⅱ	電気回路Ⅱ	工業数学	グラフとオートマトン	建設社会学	物理化学Ⅱ
	微分積分Ⅰ	電磁気学Ⅱ	数学演習	計測工学	建設情報リテラシー	無機化学Ⅱ
	線形微分	電子回路Ⅱ	材料力学Ⅱ	オブジェクト指向プログラミング	構造力学Ⅱ	有機化学Ⅱ
	工業基礎数学Ⅰ	制御工学	機械デザインⅡ	コンパイラ	地盤工学Ⅱ	機器分析
	工業基礎数学Ⅱ	電気機器	流れ	ソフトウェア工学	防災工学Ⅱ	化学工学Ⅰ
	微分積分Ⅱ	工学実験Ⅱ	熱力学	データ解析	設計製図Ⅱ	分子生物学
	数学活用	電気電子システムセミナー	ロボット工学	オペレーティングシステム	まちづくり・防災創造演習	有機化学・無機化学実験
	物理Ⅰ	環境科学Ⅰ	電子回路Ⅱ	コンピュータアーキテクチャ	コンクリート構造学Ⅰ	機器分析・生命科学実験
	物理Ⅱ	発電工学	ロボティクスセミナー	データベースシステム	都市計画	情報化学基礎Ⅱ
	物理Ⅲ	エネルギー工学	ロボット工学実験Ⅰ	情報工学実験Ⅱ	コンクリート構造学Ⅱ	材料化学Ⅰ
	アースサイエンス	エネルギー変換	機械力学Ⅰ	情報セキュリティセミナー	施工管理Ⅱ	生化学Ⅱ
	物理実験	パワーエレクトロニクス	ロボットデザインⅠ	マシンビジョン	土木系※1	有機化学Ⅲ
	化学Ⅰ	送配電工学	電磁気学	画像処理	水環境工学	化学工学Ⅱ
	化学Ⅱ	通信工学	生産システム工学	符号理論	水理学Ⅱ	物理化学・化学工学実験
	生物	センサ工学	機械力学Ⅱ	アセンブリ	環境生態学	材料生命工学実験
	保健・体育Ⅰ	半導体工学	知能システムデザイン	数値計算法	交通インフラ工学	材料化学Ⅱ
	保健・体育Ⅱ	工学実験Ⅲ	制御工学	ネットワークセキュリティ	河川工学	環境工学
保健・体育Ⅲ	環境科学Ⅱ	ロボットデザインⅡ	情報システム運用	土木設計製図		
保健・体育Ⅳ		ロボット工学実験Ⅱ	ソフトウェアセキュリティ	建築系※2		
音楽			組み込みシステム	建築一般構造		
美術			ハードウェアセキュリティ	建築計画Ⅱ		
基礎英語Ⅰ			情報工学実験Ⅲ	建築設備		
基礎英語Ⅱ			情報セキュリティマネジメント	建築構造計画		
英語表現Ⅱ			論理学	建築法規		
基礎英語Ⅲ				建築設計製図		
英語表現Ⅲ						
総合英語Ⅰ						
総合英語Ⅱ						
アカデミックライティングⅠ						
アカデミックライティングⅡ						
情報基礎Ⅰ						
		共通専門科目				
	デザイン工学演習Ⅰ	プログラミング基礎Ⅰ	電気基礎	有機無機化学基礎	CAD基礎	
	デザイン工学演習Ⅱ	プログラミング基礎Ⅱ	応用数学	地域協働演習	CAI実践	
	卒業研究					
	選択科目					
ドイツ語	応用物理	応用物理	数学演習A	数学演習A	数学演習A	
中国語	校外実習	校外実習	応用物理	応用物理	応用物理	
	材料学基礎	電気電子工学	校外実習	校外実習	校外実習	
	ロボット工学概論	材料学基礎	電気電子工学	電気電子工学	電気電子工学	
	情報セキュリティと法制度	情報セキュリティと法制度	ロボット工学概論	ロボット工学概論	ロボット工学概論	
	環境マネジメント	環境マネジメント	環境マネジメント	情報セキュリティと法制度	情報セキュリティと法制度	
	情報通信工学	電気回路Ⅱ	材料学基礎	材料学基礎	環境マネジメント	
	生産工学	数値計算法	生体信号処理		生命工学要論	
	数値計算法	ライフエンジニアリング	線形回路		機能性材料	
	先端エネルギー概論	エネルギー工学	ハイパフォーマンスコンピューティング			
	応用情報処理		モバイルプログラミング			